

平成26年12月25日

原料費調整制度に基づく平成27年2月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成27年2月検針分の単位料金を、平成27年1月検針分に比べ1m³ (43.14MJ) につき0.90円 (消費税込) 上方に調整いたします。

今回の調整は、平成26年9月～平成26年11月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に41m³のガスをお使いになる標準家庭で平成27年1月検針分と比較して、37円 (消費税込) ガス料金が上がります。

平成27年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～23m ³	料金表B 24～233m ³	料金表C 234m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	907.20	2,527.20
調整単位料金 (円/m ³)	124.70	117.76	110.83
(参考) 1月 調整単位料金	123.80	116.86	109.93

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 41m ³ (43.14MJ/m ³)	平成27年 1月	平成27年 2月	増減
適用料金(円/月)	5,698	5,735	37

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円 (消費税込) を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成26年8月～平成26年10月 の平均 (1月検針分)	平成26年9月～平成26年11月 の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	32,050	33,160	1,110
LNG	86,020	89,330	3,310
LPG	88,650	87,110	▲ 1,540
基準平均原料価格(b)	29,380		
差額(a-b)	2,600	3,700	1,100

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{89,330} \times 0.3462 \\ \text{+LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{87,110} \times 0.0256 \end{aligned}$$

$$= \boxed{33,156.06}$$

↓(10円未満四捨五入)

$$\boxed{33,160} \text{ 円/t}$$

■原料価格変動額の算定

$$\boxed{33,160} \text{ 円/t} - \boxed{29,380} \text{ 円/t} = \boxed{3,780} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$\boxed{3,700} \text{ 円/t}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{3,700} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08208^* \\ &= \boxed{3.03} \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て}) \end{aligned}$$

* 変動額100円につき単位料金を0.08208(0.076×1.08)円調整します。

<標準家庭における影響>

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量	平成27年 1月	平成27年 2月	増減
41m ³ (43.14MJ/m ³)			
適用料金(円/月)	5,698	5,735	37

* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込み)} &= \text{基本料金(907.20円)} \\ &+ \text{調整単位料金(114.73円)} + \boxed{3.03} \text{ (円)} \times 41\text{m}^3 \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金 ↑ ↑単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(29,380円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08208円(0.076円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が47,010円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は47,010円としてガス料金の調整を行います。